



## 国際深海科学掘削計画 (IODP) 研究航海関連活動報告書

提出年月日： 2018 年 8 月 21 日

氏名：石野沙季

所属機関・職名：名古屋大学環境学研究科・修士二年

活動の種類 (該当項目を残す)	5. Sampling party
IODP 研究航海番号 および航海名	Exp. 374 Ross Sea West Antarctic Ice Sheet History
乗船時の役割	Sedimentologist (例 Sedimentologist)
出張期間 (移動も含む)	2018 年 7 月 28 日 ~ 2018 年 8 月 12 日
用務地 (国・都市)	アメリカ・テキサス
本活動における成果  テキサス大学にある Gulf Coast Repository にて、Ross 海で掘削したコアから今後分析予定の試料を 2 週間かけて採取した。前半の 1 週間は古地磁気のサンプリングを行い、その後の 1 週間は通常のサンプリングに加わった。 古地磁気のサンプリングは他の乗船研究者の代理で参加し、古地磁気分析を行う予定の研究協力者 2~3 人と協力して 800 以上のサンプルを採取した。通常のサンプリング期間は、乗船研究者とその学生らも参加し、午前午後のシフトに分かれて 2~3 人がチームとなって作業にあたった。1 週間かけて約 19000 個のサンプルを採取した。 サンプリングパーティーで研究者が集う期間に合わせて、Texas 大学の Alejandro Orsi による Ross 海の海洋環境についての講義や、co-chief scientist による航海のまとめの講義をしていただき、周辺海域の環境や堆積物試料の予備知識などに対する理解を深めるには良い機会となった。	
備考	
本報告書は J-DESC ウェブサイトに掲載されます。未発表の研究データなど、公開に差し支えのある情報が含まれていないかご確認ください。 → 確認後チェック <input checked="" type="checkbox"/>	

## 注意事項

1. 当報告書は出張終了後 2 週間以内に海洋研究開発機構地球深部探査センター (CDEX) 内 J-DESC サポートオフィスに E-mail (jdesc@jamstec.go.jp) でご提出ください。



## 国際深海科学掘削計画 (IODP) 研究航海関連活動報告書

提出年月日： 2018 年 8 月 20 日

氏名： 関宰

所属機関・職名： 北海道大学・准教授

活動の種類 (該当項目を残す)	1. 乗船 (port call) 3. Shore-based Science Party (MSP 以外) 5. Sampling party	2. Onshore Science Party (MSP) 4. Pre-expedition meeting 6. 1st/2nd Post-expedition meeting
IODP 研究航海番号 および航海名	Expedition 374: Ross Sea West Antarctic Ice Sheet History	
乗船時の役割	Organic geochemist	(例 Sedimentologist)
出張期間 (移動も含む)	2018 年 8 月 4 日 ~ 2018 年 8 月 12 日	
用務地 (国・都市)	米国・テキサスカレッジステーション	
本活動における成果		
<p>テキサス大学の IODP コア保管庫にて Expedition 374: Ross Sea West Antarctic Ice Sheet History において採取した堆積物コアのサンプリングに従事した。総勢約 30 名の研究者が集まり、6 日間かけてサンプリングを行い、予定していた約 19000 サンプル全てのサンプリングが終了した。</p>		
備考		
本報告書は J-DESC ウェブサイトに掲載されます。未発表の研究データなど、公開に差し支えのある情報が含まれていないかご確認ください。 → 確認後チェック <input checked="" type="checkbox"/>		

### 注意事項

1. 当報告書は出張終了後 2 週間以内に海洋研究開発機構地球深部探査センター (CDEX) 内 J-DESC サポートオフィスに E-mail (jdesc@jamstec.go.jp) でご提出ください。